

## みんなで「コロコロ」 もちだんごづくり

5月8日(木)、上ノ国保育所のくま組・とら組の子どもたちがよもぎだんごを作りました。すり鉢とすりこぎを使ってよもぎをすりつぶす工程では、みんなで交代しながら、一生懸命力をこめてすりこぎを動かしていました。すりつぶしたよもぎと生地を練り合わせ、丸める工程では、一口サイズに丸めるのに苦戦しつつも、「きれいにできたよ!」とまんなまるのおたんごを、先生やお友達に見せながら楽しく作業していました。作ったよもぎだんごはおやつの時間に振る舞われ、おかわりをねだる子どもたちの声があちこちから聞こえてきました。



## よりよい町づくりを目指して マキ×ヒト協働みらい会議

5月8日(木)、上ノ国高校で「マキ×ヒト協働みらい会議」が開催され、町の未来についての話し合いが行われました。このイベントは、上ノ国高校の1年生をはじめ、役場職員や地域活性化起業家の北名さんなど多くの方が参加しました。町の魅力については、「町民の温かさ」や「豊かな景色」といった意見がある一方で、町にももう少し足りないものについては、「遊び場」や「人口」といった意見が挙げられました。限られた時間の中でさまざまな意見を出し合い、よりよい町づくりのための活発な会議となりました。



## 「檜山の森づくり植樹祭」 いかにのくに開催!!

5月13日(火)に北村地区で「檜山の森づくり植樹祭」が行われました。河北小学校の児童たちが所属する「緑の少年団」をはじめ、町民の方や関係者約120人が参加し、ヒノキアスナロ150本、ブナ150本、計300本を植樹しました。指導林家の菊地時男さんと檜山振興局の横山透さんの指導のもと、参加者は元気に植樹を行いました。工藤町長は、「二酸化炭素削減のため、小さなことかもしれないが、一人ひとりが行動することが、自然に貢献することになる。」と語っていました。



## 司厨士協会北海道本部懇親会で 町内食材の魅力発信!

5月15日(木)、札幌市で一般社団法人全日本司厨士協会北海道地方本部(大江廣嗣会長)の懇親会が行われ、町内の農水産物をPRしました。これは、町内で生産される農水産物をホテル・飲食店などへ直接売り込むための取り組みです。提供された食事の一部に町内産のアスパラガスやサクラマスなどが使用されたほか、上ノ国ワインの試飲や当日に水揚げされた活エビなどの展示も行われました。参加した㈱MORIFARMの木村侑さんは、「出席者が提供したものに興味を持っていて、ポテンシャルが高いように感じました。」と話していました。

